



首里城正殿復元の進捗状況と 今後の予定

内閣府 沖縄総合事務局

国営沖縄記念公園事務所 事務所長 平塚 勇司

火災前の首里城



(平成31年1月5日撮影)

火災直後の首里城

令和元年10月31日未明に発生した火災により、9棟の建物が被災（全焼：7棟、一部焼失：2棟）。

全焼

一部焼失



女官居室

黄金御殿・寄満

二階御殿

正殿

奥書院

書院・鎖之間

北殿

南殿・番所・近習詰所

奉神門(北側)

首里城復元に向けた「3本柱」

首里城復元

2026年の完成を目指す正殿の復元や、その後の北殿・南殿等の復元に向けて、関係機関と密に連携を図りながら、技術的な検討を行い、復元工事を実施する。



首里城復元に向けた技術検討委員会

段階的公開

首里城復元に向けて進む破損瓦等の撤去や躯体の解体、復元工事の過程を、安全性を確保しながら現地で一般公開するとともに、様々な情報発信を通して、復元の様子を伝える。



正殿遺構の覆屋と公開用仮設デッキ

地域振興・観光振興への貢献

首里城の段階的公開、赤瓦漆喰はがしボランティア活動や復興関連イベントを通して、沖縄の地域振興・観光振興への貢献に努めていく。



首里城赤瓦漆喰はがしボランティア

火災発生後1年目の取組



令和2年10月：世誇殿の改修



令和2年6月：見学デッキ設置



令和2年2月～：建物の撤去、瓦等の撤去



火災発生後2年目の取組

令和3年10月：北側見学通路オープン



令和3年6月：工事用仮設道路設置



令和3年3月：奉神門応急復旧完了



火災発生後3年目の取組



令和4年3月：工所用仮設道路（東側）設置



令和4年9月：木材倉庫・加工場、原寸場整備



火災発生後4年目(現時点)の取組

令和4年11月:正殿本体工事起工式開催
:「首里城復元における技術継承・
人材育成に係る連携協定」締結



令和4年12月:木材倉庫に正殿のグラフィックが
完成



首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定 締結式



ボランティアによる復興への支援

① 赤瓦漆喰はがしボランティア

焼け残った瓦の漆喰をはがすボランティア。処理された瓦は今後正殿以外の建物の瓦として再利用。



焼け残った瓦（正殿以外）



約4,300人参加、約24,000枚処理



正殿以外の建物の瓦

② 赤瓦シャモット製作ボランティア

破損した瓦を細かく砕き、シャモット（粉末）を製作するボランティア。正殿の赤瓦の原料の一部として再利用。



破損した赤瓦



細かく粉碎（累計約1.2万人参加、製作量：約9t）



正殿の瓦の原料の一部

③ “ニービの粉” 製作ボランティア

火害を受けた正殿の礎石を粉碎し、新たな正殿の「うるし塗りの下地“ニービ（細粒砂岩）の粉”」として再利用。

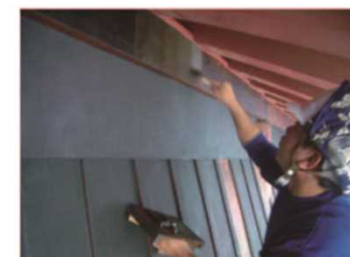


礎石

火害を受けた正殿の礎石



細かく粉碎（参加者数：約8千人（令和5年2月末現在））



塗装下地

今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

- 素屋根、見学者用階段・EVの建築
- 基礎工事
- 木材加工、建方工事の開始



今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

2024

令和6年度

○素屋根、見学者用階段・EV
の建築

○基礎工事

○木材加工、建方工事の開始

○木材の造作工事、木彫刻の
取り付け

○屋根瓦葺き開始

○塗装工事開始



今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

2024

令和6年度

2025

令和7年度

○素屋根、見学者用階段・EV
の建築

○基礎工事

○木材加工、建方工事開始

○木材の造作工事、木彫刻の
取り付け

○屋根瓦葺き開始

○塗装工事開始

○外部彩色、内部彩色

○素屋根・木材倉庫解体

○両廊下の整備開始



今後の工事スケジュール(予定)

2023

令和5年度

- 素屋根、見学者用階段・EVの建築
- 基礎工事
- 木材加工、建方工事開始

2024

令和6年度

- 木材の造作工事、木彫刻の取り付け
- 屋根瓦葺き開始
- 塗装工事開始

2025

令和7年度

- 外部彩色、内部彩色
- 素屋根・木材倉庫解体
- 両廊下の整備開始

2026

令和8年度

- 外構工事
- 正殿・両廊下 完成



素屋根内の正殿の建築イメージ

